

## 第 8 回クラシックを楽しむ会

2014 年 3 月 23 日 (日) 18:30~21:30

タイトル : 「ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート 2014 」

会場等 : ウィーン楽友協会 大ホール (黄金の間)  
(バレエ : リヒテンシュタイン・シティパレス)

楽団等 : ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
(バレエ : ウィーン国立バレエ団)

指揮 : ダニエル・バレンボイム



ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート 2014 (2014.1.1)



楽友協会近くのウィーン市立公園  
ヨハン・シュトラウス記念像 1912 年

### ウィーン・フィルのニューイヤーコンサート

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団がウィーン楽友協会大ホール (黄金の間) で、主にシュトラウス一家のウィンナワルツやポルカなどを演奏して新年を祝うコンサートである。

1931 年に第 1 回コンサートが開かれたが、ナチス時代の暗い歴史を背負っている。オーストリア国民に自国回帰の念を呼び起こすと同時によりよい時代への希望をもたらした。

1980 年にオーストリア放送協会 (ORF) により衛星テレビ中継が開始され、現在世界 46 か国で同時に視聴。ウィーンフィルはこのコンサートを通じて名作の貴重な演奏だけでなく、世界中の人々に希望と友情そして平和の挨拶を届けている。

### ウィーン楽友協会 (ムジークフェライン)

ウィーン楽友協会とは 1812 年設立のクラシック音楽関係者による団体およびその本部の建物を指す。日本では単に「楽友協会」と呼ばれることが多い。

大ホールは 1870 年建設。ホール内部の絢爛豪華な装飾とその音響の素晴らしさで「黄金のホール」と呼ばれている。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地の演奏会場である。

同じ建物にはブラームスの全自筆楽譜などを所蔵する資料室、出版社や世界的名門ピアノメーカーのベーゼンドルファー (2008 年にヤマハの子会社になった) などが同居している。

19 世紀、楽友協会会員のブラームスは協会主宰コンサートで指揮し、また小ホールでは自身のピアノ作品を初演した。このため 1937 年に小ホールは「ブラームス・ザール (ホール)」と名づけられた。現在の会員にはロリン・マゼール、アルフレッド・ブレンデル等が名を連ねている。



ウィーン楽友協会

### 第 9 回クラシックを楽しむ会 (予告)

タイトル : 歌劇「ホフマン物語」(オッフェンバック)

4 月 20 日 (日) 18 時開場、18 時 30 分上映開始

華麗なメトロポリタンオペラ、指揮はジェームズ・レバイン、出演はアンナ・ネトレプコ他。オペレッタの原型を作ったオッフェンバックの歌劇、有名な「ホフマンの舟歌」が歌われる。

5 月以降もどうぞお楽しみに・・・

## ウィーンの2つのリヒテンシュタイン宮殿



上の写真は9区にあるガーデン・パレス、バレエ会場は1区にあるシティ・パレス。

1区のシティ・パレスは2013年にリオープン。

### リヒテンシュタイン・ガーデンパレス（ウィーン9区）

美しい庭園に囲まれたガーデンパレスには、5世紀にわたる世界的に貴重なバロックの美術作品が1600点以上集められ、ルーベンスの「デキウス・ムス連作画」などの絵画、彫刻、家具などが常設展示している※。近くには名門劇場のフォルクスオーパー、シューベルトの生家（現在記念館）等がある。※リヒテンシュタイン侯爵コレクションは英国王室に次ぐ3万点に及ぶ膨大な個人コレクション。2012年に「華麗なる侯爵家の秘宝」として国立新美術館で展示された。

### リヒテンシュタイン・シティパレス（ウィーン1区）

この宮殿は1億ユーロと4年間の修築工事を経て2013年5月にリオープン。バロック建築の粋を集めた豪華な部屋の数々は2014年のニューイヤーコンサートのバレエ会場に使用された。この宮殿は市民庭園（フォルクス・ガルテン）に面しており、隣は有名なブルク劇場である。

### ダニエル・バレンボイム

2009年に続き今年が2度目の指揮。同時にベルリン国立歌劇場の音楽総監督25周年、ミラノ・スカラ座の音楽監督でもある。アルゼンチン生まれのユダヤ人でイスラエル国籍を持つ。ピアニストとして世界的な名声を高めた後に指揮者に転身。イスラエルの良心的文化人として、「共存への架け橋」を理念に、対立を続けるイスラエルとアラブ諸国出身の若手音楽家達を集めてオーケストラを立ち上げ、厳戒態勢のパレスチナ自治区で演奏会を開くなど、芸術を通じて和解に導く努力は世界的に高い評価を受けている。



写真は若き指揮者と今は亡き妻、天才チェリストのジャクリヌ・デュ・プレ。

### ニューイヤーコンサートよもやま話

#### 会場を彩る華麗な花飾り

豪華な会場を飾る華麗な花の飾りつけもこのコンサートの楽しみの一つ。花飾り用の3万本の花は、1980年以来イタリア、サンレモの花業者が毎年無償提供。鉢物500～1000鉢はオーストリア国内産。花飾り作業は十数名（日本人女性1名含む）が無償でチームを組み、12月28日から公式演奏会とリハーサルを避けて連日深夜まで続けるとのこと。

#### ヴィヴィアン・ウエストウッドによるバレエ衣装

この日の演目の一部、ウィーン国立バレエ団による華麗な演舞のコスチュームデザインはヴィヴィアン・ウエストウッド。歴史的な宮殿居室とバレエが見事にマッチ。

#### 入手困難な高額チケット

チケットの入手は世界一入手困難と言われ、最もプレミアが付く演奏会としても有名。今年の特等席は4,800ユーロ、約70万円。日本人がやたらと目につくのは日本企業がウィーン・フィルやオーストリアと密接な関係にある証明だとか・・・。

#### 来年は巨匠ズービン・メータが指揮

「来年の指揮者は誰？」世界の注目を集めるニューイヤーコンサート指揮者。公式には「楽団員全員による投票」によって決定され、毎年1月2日に翌年の指揮者が発表される。

来年はインド出身の巨匠ズービン・メータ。1990年に登場し来年で5度目の指揮。1997年にウィーン国立歌劇場名誉会員に、その後名誉団員。2007年からはウィーン楽友協会名誉会員。